

# 第86回定例会 議決結果一覧

議長(岬 光彦)は表決に加わらない。  
しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の可否を決定する。  
議長が欠席の場合、副議長が代理となる。  
(賛成『○』、反対『●』、退席『△』、欠席『欠』)

議案名	石岡 義恒	針木 均	井出 信	多田 耕造	岨下 博史	富永 康文	打越 齊	田尾 成	西村 秀一	太田 善雄	鎌塚 聡	戸田 雄士	田中 孝始	土井 晴夫	粕谷 宏	池本 道治	松本 英志
議案55号 印鑑条例および手数料条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案60号 令和2年度一般会計補正予算(第5号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定1号 令和元年度一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定2号 令和元年度国保会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定3号 令和元年度後期高齢者医療会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定4号 令和元年度介護保険会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定6号 令和元年度温泉事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定9号 令和元年度下水道会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 全会一致で可決された議案

※表記は、正式議案名ではありません。  
お問い合わせは、議会事務局(☎64-2502)までお願いします。

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 議案53号 延滞金利率の改正条例                    | 議案65号 温泉事業会計補正予算(第1号)                     |
| 議案54号 消防団員の定数を減員する等の改正条例            | 議案66号 住宅用地造成会計補正予算(第1号)                   |
| 議案56号 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の運営基準条例の改正 | 認定5号 令和元年度産地直売所会計決算                       |
| 議案57号 放棄した権利の額の変更(食肉センター改修工事)       | 認定7号 令和元年度津名港ターミナル会計決算                    |
| 議案58号 放棄した権利の額の変更(高速バスICカード化)       | 認定8号 令和元年度住宅用地造成会計決算                      |
| 議案59号 字の区域の変更                       | 発委1号 新型コロナウイルス感染症の影響による地方税財源の確保を求める意見書    |
| 議案61号 国保会計補正予算(第2号)                 | 発委2号 種苗法改正の慎重審議等を求める意見書                   |
| 議案62号 後期高齢者医療会計補正予算(第1号)            | 諮問2~4号 人権擁護委員候補者の推薦(森 三枝子氏、松田 和義氏、宮下 佳樹氏) |
| 議案63号 介護保険会計補正予算(第2号)               |   |
| 議案64号 産地直売所会計補正予算(第1号)              |   |

## 意見書2件を採択しました

- ①新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- ②種苗法の改正について慎重な審議等を求める意見書

## 討論

### 議案60号 一般会計補正予算5号

#### 反対 鎌塚 聡

5・6月議会で約5億9,200万円取り崩すとしていた財政調整基金を、国の地方創生臨時交付金が7億3,200万円余入ってくると見込み、今回6億7,100万円余をまた財政調整基金に戻している。新型コロナ対策で業種によって差も出ており、そうしたところに効果が出る施策、直接補助となる制度など、他の対応もできたはずだ。



#### 反対 田中 孝始

指定管理者制度は、縛りを極力消して、競争原理導入により「サービス向上」効率的な運営を図ることが目的。第三セクター会社2社への支援が含まれ、これで総額8,542万円。施設の存続と運営会社への支援は別物。属性によって特別扱いをしないことは、民主主義の根幹ルール。事情はあっても、例外を作ると必ずそこから規律は乱れてくる。

# 令和2年度 9月補正予算 10億4,224万円を可決!

## 補正予算規模

区分	既決予算額	今回の補正額	補正後の額
一般会計	354億6,946万円	<b>6億7,338万円</b>	361億4,285万円
特別会計	125億8,601万円	<b>3億6,885万円</b>	129億5,487万円
企業会計	33億2,902万円	<b>0円</b>	33億2,902万円
合計	513億8,451万円	<b>10億4,224万円</b>	524億2,675万円

\*万円未満は四捨五入のため合計が一致しません。

■ **審査の概要** 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策、「ウィズコロナ」の時期において必要な市民の安全・安心対策の強化、7月豪雨により被災した道路・施設等の災害復旧・修繕などについて審査しました。

## 議論が多かった事業の主な質疑答弁

### ● 生穂・佐野地域活性化事業計画策定業務委託料(3,770万円)

問 事業目的は。

答 農山漁村への定住や都市と農山漁村との交流促進による地域活性化のために必要な「ハード整備」に関して、国の農山漁村振興交付金の申請に当たり、事業効果の算定・収支計画作成等の専門的知識を要する業務について外部委託するものです。

問 活性化計画の具体的な整備内容は。

答 農家レストラン、水産物処理加工施設、交流・研修施設、簡易宿泊滞在施設や排水計画の整備を検討しています。



利活用が検討される旧佐野小学校

### ● 短期移住体験施設整備事業(193万円)

問 コロナ禍社会において新しい生活様式が求められる中、テレワーク等による柔軟な暮らし体験住宅の整備内容は。

答 定住促進や交流人口の増加を図るため、山田地区に「短期移住体験施設」を開設します。1LDK・3LDKの2室で、利用者は通常家賃の半額負担します。利用期間は最長3か月です。

問 暮らしスタイルは様々。生業の関係もある中、定住に結び付けるには、海岸部、山間部とさまざまな地域に体験施設を要望してきているが。

答 物件確保に努力して、できるだけ多くの地域に施設整備したいと考えています。

## ■ その他 主な補正

小・中学校スクールバス運行に係る3密を避けるための委託料増額	7,487万円
小・中学校の新型コロナウイルス感染症対策強化のため、教室の網戸設置等	1,550万円
中学校の修学旅行等のキャンセル料支援補助金の新設	100万円
申請者の増加に伴う新規起業支援事業補助金の増額	1,000万円
ごみステーションの不法投棄防止対策カメラ設置補助金の増額	375万円